

おかみさん 新春トーク

6

先ほど、ホテルニューさか井の遠藤さんから牡鹿半島は交通の便が悪くというお話をうかがいました。東日本大震災後は沼気、南三陸の沿岸部も交通アクセスは深刻な問題になっています。



阿部 JR沼気

線が復活しないと、教育の格差が更に拡大しつつあります。南三陸町には志津川高校があります。沼気高校に通いたいという生徒もいます。震災前だと、沼気線で志津川から1時間ほどで

通学していましたが、今は1時間半、冬場だと2時間以上かかることもあります。交通事情によっては3時間ということも

分たちの代では困難でも、後輩のためにも復活してもらいたい」という切実な願いを持っています。震災後、これらの理由で南三陸から登米市の高校に通う子供たちが増えました。沼気高校に通えることができたから、沿岸部の復興と一緒にやっつけていこうという機運も高まってきたのではないのでしょうか。

高校生の通学の足を止めてしまったことは、この地域の将来に負の影響を与えてしまつたかもしれません。鉄道復旧という多くの住民の思いを、何とかかなえてあげたいですね。

「沼気線の代わりには三陸道、東北道経由の高速バスを利用する人が多くなりました。バス会社の担当者が乗り継ぎのルートを説明しているうちに怒り出す人もいます。「自家用車以外で、沼気や南三陸に行けないのか!」という具合です。仙台からBRTで乗り継いだら、とんでもない時間がかかりま



す。観光客には不愉快な思いをさせることになりません。仙台までは順調に来たのに足止めされてしまう。2次交通の大きな課題だと思っています。

阿部 町内には仙台の病院に通っている高齢者がいますが、高速バスにはトイレがないので道中を心配する人も少なくありません。

沼気からの高速バスが志津川に来るまで満席になり、バスに乗れないというケースもあります。乗車できなかった人たちが仙台に行く手段を求めてホテルに駆け込んできたことが何度もあります。ホテルの車でBRTの駅まで送ったり、仙台まで送って行ったりしたこともありました。復興が進んでいく中で不便になっていくという、やりきれない思いです。

続く

◆ 出席者 ◆

- 鈴木 緑さん (はまなす海洋館)
- 阿部 憲子さん (南三陸ホテル観洋)
- 遠藤 和子さん (ホテルニューさか井)
- 高橋 知子さん (篝火(かがりび)の湯緑水亭)

三陸新報社編集局次長 玉谷誠一